

海外事務所だより

ソウル事務所

韓国人観光客誘致に係る 各種アンケート調査の結果

(財)自治体国際化協会ソウル事務所所長補佐 見野 禎則(札幌市派遣)

はじめに

クレアソウル事務所では、年2回程度、観光展などにブースを出展し、日本の自治体の観光PRなどを行うとともに、その機会を活用してアンケート調査などを行っています。

今年度は、a)釜山国際観光展(場所:釜山市BEXCO、期間:2013年9月6日~9日)、b)日韓交流おまつり(場所:ソウル市COEX、期間:2013年9月15日)の2つの会場で、それぞれ2種類のアンケート調査を実施しました。

ここでは、その2つのアンケート調査の結果概要を報告いたします。

☆実施したアンケート調査

○A4用紙アンケート(日本に関するアンケート)

(1) 調査目的

韓国人が日本旅行に期待する事柄などを調査することを通じて、韓国人観光客誘致における日本の強みなどを把握することを目的とする。

(2) 調査の方法

クレア運営ブースに訪れた韓国人に対して、アンケート用紙への記入依頼を行い、その場で回収をする方法により実施した。

○日本地図アンケート(「行ったことがある地域」「行きたい地域」アンケート)

(1) 調査目的

韓国内において、日本の各地域の観光地としての人気や知名度などを知ることを目的とする。

(2) 調査の方法

クレア運営ブース内に、都道府県・政令指定都市名が記載された大きな日本地図を掲示し、ブースへの来場者に「行ったことがある地域」には黄色いシールを、「行きたい地域」には赤いシールを貼ってもらう方法により実施した。

A4用紙アンケートの結果概要

A4用紙アンケートは、釜山国際観光展では408人(男163人、女245人)、日韓交流おまつりでは420人(男176人、女244人)から回答を得ました。

本アンケートの実施においては、多くの事柄について調査したい気持ちは強く持っていたものの、クレア運営ブースに立ち寄った方に、その場で記載いただくという本アンケートの実施形態上、設問は少ないことが望ましいと判断しました。そのため、本アンケートでは、「年齢」「性別」「渡航回数」のほか、「特に行きたい地域」「旅行情報入手手段」「日本で体験してみたいこと」「日本

で宿泊先を選ぶ際に重視すること」「日本に関して興味・関心があること」「日本旅行で良かったこと、苦労したこと」という設問のみを設け、その集計結果について、年齢や性別などから、さらに細かく分析を行いました。

その結果は、「釜山」と「ソウル」という調査場所の違い、「観光展」と「日韓交流に係るおまつりイベント」というイベント内容の違いにかかわらず、ほぼ同様の傾向を示しました。調査結果の概要は、以下のとおりですが、その結果から、

- ①韓国人にとって、日本は非常に身近な海外旅行先であること
 - ②韓国人の多くが旅行情報の収集にインターネットを活用しており、特に若い世代の活用率は極めて高いこと
 - ③女性や若い世代は口コミ情報を参考にする場合が多く、高齢者は旅行会社から聞いた話を参考にする場合が多いこと
 - ④「日本食」と「温泉」は、韓国人観光客誘致において、非常に重要なポイントであり、特に若い世代の観光客誘致において、大きな強みとなること
 - ⑤特に若い世代の観光客誘致においては、ショッピングも重要なポイントであること
 - ⑥宿泊先の決定において、若い世代には「価格」「サービス」「部屋」が、高齢者には「温泉の有無」が重要なポイントであること
 - ⑦韓国人観光客誘致における日本の強みは、「温泉」「日本食」だけではなく、「親切」「正直」「優しい」といった日本人の国民性とその国民性に基づく快適なサービス（≒「おもてなし」の心）、清潔感にあふれ、安全・安心に過ごせる旅行先にもあること
- など、韓国人観光客誘致に関するさまざまなヒントを、発見・再認識したところです。

(参考：釜山国際観光展 調査結果の概要)

- ①全回答者の6割以上が「日本への渡航経験がある」と回答しており、さらにそのうち少なくとも3割以上が「複数回の渡航経験がある」と回答

- ②全回答者の6割以上が、旅行情報の入手方法として「インターネット」と回答しており、特に30代以下は約8割が回答（一方で、50代は5割、60歳以上は2割程度まで回答率が減少）
- ③男性より女性、高齢者より若い世代の方が、旅行情報の入手方法として「知り合い」と回答している率が高い。また、高齢者は、「旅行会社」と回答している率が高い。
- ④約5割が、日本で体験したいこととして「日本食」と「温泉」を回答しており、特に20代以下は、約6～7割が回答。また、日本での「宿泊先選択において重視すること」についても、4割が「温泉」と回答
- ⑤20代以下は、約3～4割が、日本で体験したいこととして「ショッピング」と回答
- ⑥宿泊先の決定において重視することとして、若い世代は「価格」「サービス」「部屋」、高齢者は「温泉」の回答率が高い。
- ⑦アンケートの自由記載欄には、日本を旅行してよかった点として、以下のような記述が多く見られた。

「親切」、「正直」、「優しい」といった日本人の国民性（63件）、「きれい」「清潔」（27件）、食べ物（27件）、温泉（19件）、サービス（8件）、秩序、安全、安心（8件）



クリアブース前でアンケートを書くお客さん

日本地図アンケートの結果概要

日本地図アンケートは、「行ったことがある地域」と「行きたい地域」を合わせると、釜山国際観光展では1,523票、日韓交流おまつりでは2,709票の投票がありました。日韓交流おまつりにおける投票結果は、以下のとおりです。

(日韓交流おまつり 投票結果)

行ったことがある地域

順位	都道府県	票数	昨年の順位
1位	大阪府	179	2位
2位	東京都	171	1位
3位	京都府	165	3位
4位	福岡県	136	4位
5位	神奈川県	123	5位
6位	兵庫県	84	8位
7位	奈良県	76	10位
8位	北海道	74	6位
9位	千葉県	66	7位
	愛知県	66	9位
11位	熊本県	55	14位
12位	長崎県	44	12位
13位	静岡県	37	13位
14位	埼玉県	36	11位
15位	広島県	30	14位

行きたい地域

順位	都道府県	票数	昨年の順位
1位	北海道	155	1位
2位	沖縄県	111	2位
3位	東京都	69	3位
4位	大阪府	68	6位
5位	京都府	63	4位
6位	福岡県	48	5位
7位	長崎県	35	11位
8位	千葉県	30	13位
9位	神奈川県	27	7位
	愛知県	27	8位
11位	青森県	24	9位
12位	奈良県	22	24位
13位	兵庫県	18	14位
14位	宮崎県	17	23位
15位	鳥取県	16	12位

注) 各都道府県への投票数は、政令指定都市への投票を含む

「行ったことがある地域」ランキングでは、やはり、日本への直行便が数多くある交通アクセスのいい地域が、上位を占めています。ちなみに、釜山国際観光展の投票結果では、釜山と距離的に近い九州の各地域がより上位にきており、1位は福岡県の162票でした。

「行きたい地域」ランキングでは、昨年度とほぼ同様の傾向が見られましたが、中には、昨年度から大きく獲得票数を上げた自治体もあり、日頃の地道なPR活動の成果とも関連があるのでは？と感じています。

なお、この日本地図アンケートは、これまでも2010年度と2012年度に実施しています。

本アンケートは、単発ではなく継続的に実施していくことで、各地域の観光地としての知名度・人気度などの推移を知ることができることから、今後も、継続的に実施していくことを予定しています。



日本地図にシールを貼るお客さん

おわりに

2つの会場で実施した2種類のアンケート調査結果(=4つのアンケート結果)については、ここでは、その一部しか紹介していません。全ての調査結果については、クレアメールマガジンまたはHPで、近日中に公表することを予定しています。

クレアソウル事務所では、日本の地方自治体のための、いわば「定点観測基地」として、今後もさまざまなアンケート調査を実施していきます。